

公益社団法人日本包装技術協会

事業の一覧

事業区分		事業の内容
公益目的事業	公益1	<講座、セミナー、育成事業> 包装に関する知識の習得と技術の向上を図ることを目的とする事業 主な具体例：包装専士講座、包装管理士講座、セミナー、コース、研究会、フォーラム、Web フォーラム、研究大会、懇話会 ＊支部で行っている事業はすべてここに属し、公1として扱う
		<体験活動等事業> 包装に関する体験活動を通して知識の習得と普及を図ることを目的とする事業 主な具体例：海外視察団、見学会
		<表彰、コンクール事業> 包装に関連した技術やデザインの啓発を目的として行われる事業で、入賞作品はすべて展示会において一般公開される 主な具体例：パッケージングコンテスト、木下賞
	公益2	<展示会、ショー事業> 包装の最新情報を内外の関連分野に対して啓発、普及を行うことを目的とする事業 主な具体例：東京国際包装展、暮らしの包装商品展
	公益3	<調査、資料収集事業> 委託による調査及び資料収集が中心となっており、結果は報告書や規格となって一般に公表される 主な具体例：ISOに関する活動、JISに関する活動、統計調査
収益事業	収益1	<出版事業> 毎月刊行されている当会の機関誌の出版に関する事業。雑誌は会員には無料、一般には有料で配布されている。その他、非定期的に包装に関する単行本等を刊行 主な具体例：機関誌「包装技術」、包装技術便覧、包装用語辞典

＊その他行事：総会、新年会、会員交流会等

第1号議案

公益社団法人日本包装技術協会
2024年度事業報告

本 部

2024年4月1日～2025年3月31日

当会の事業は、概ね年度活動方針および事業計画に沿って実施された。協会事業の柱となっている包装人材育成事業（包装管理士講座、包装専士講座、等）や情報提供事業は当初の計画通り成果をあげることができた。

包装管理士講座は、今期（第59期）、458名の受講生を得て対面とオンラインで開講し、再受講合格者を含め439名が合格し、包装管理士の称号が授与された。これにより、第1回の開催以来59年間で包装管理士の有資格者は16,395名となった。

包装専士講座は、輸送包装、食品包装、包装材料及び医薬品包装の4コースを6月より開講し、3月までの期間で開催し、44名の包装専士が誕生した。これまでの包装専士有資格者は、1,553名となった。

情報提供事業の柱であるJPIWEBフォーラム（オンライン開催）は、本年度も年間計画に沿って情報と交流の機会を会員に提供した。

展示会事業として、TOKYO PACK 2024（東京国際包装展2024）を、10月23日（水）～25日（金）までの3日間、東京ビッグサイト東1～6ホールを使用し開催した。

今回は「世界が驚く包装イノベーションを！～TOKYO PACK から世界へ～」と開催テーマとし、日本が世界に誇る「環境」・「機能」・「次世代技術」・「印刷・表示技術」の4つのキーワードを推奨テーマと設定し、TOKYO PACK から世界へ包装の最新情報を発信した。全725社・団体の出展のもと、のべ22万人を超える来場者を迎え、盛況のうちに終了した。

また、本年度は隔年で開催される暮らしの包装商品展の準備年にあたる。包装が果たす役割や重要性について、理解を深めていただくことを目的とする消費者向けの普及啓発事業として、実り多き展示会となるよう開催に向けて準備を進めていく。

第1 事 業

1. 研修、育成事業、交流事業、普及啓発事業（公益目的事業1）

<研修、育成事業>

研修、育成事業はオンライン開催が主軸ではあるものの、必要な感染症予防対策を講じながら状況や場面を十分に考慮した上で対面での開催も実施した。

包装人材育成事業の柱である包装管理士講座は、458名の受講者を得て対面とオンラインで開講し、今期（第59期）は439名が合格し包装管理士の称号が授与された。これにより第1回の開講以来59年間で包装管理士の有資格者は16,395名となった。

本年度包装専士講座は、例年通り全4コースで開講した。参加者の健康および安全を確保しつつ従来の教育の質を保つため対面による講義を行った。本年度は44名が合格し、包装専士の称号が授与された。これにより包装専士の有資格者は1,553名となった。

情報提供事業の柱である JPI WEB フォーラムは、本支部協力のもと定期的に情報と交流の機会を会員に提供し、年度活動方針および事業計画に沿って実施した。

1) 第59期包装管理士講座

期間：6月5日（水）開講～9月11日（水）終講

合格者：受講者458名（合格者439名 ※昨年度継続受講者含める）

合格者内訳：東京募集 268名 大阪募集 68名 名古屋募集 54名

福岡募集 28名 仙台募集 10名 札幌募集 11名

〈 輸送包装コース163名・生活者包装コース276名 〉

以上の結果、59期を通して包装管理士有資格者は、16,395名となった。

2) 2024年度包装専士講座

2024年2月1日（木）～4月26日（金）で受講生の募集をし、2024年6月6日（木）～2025年3月4日（火）の期間にて、例年通りに4コース（輸送包装、食品包装、包装材料、医薬品包装）で開講した。カリキュラムはほぼ月1回で開講する一般講義のほか、実地研修、事例研究、包装専士論文の発表で構成されている。本講座で培われる講師と受験生、受験生同士の“情報ネットワーク”は、本講座を終了した者だけが得られる財産と考え、リモート講座ではなく、対面講座を基本に行っている。

2024年度の受講者45名のコース別内訳は次のとおりである。

輸送包装コース・・・ 8名 食品包装コース・・・14名

包装材料コース・・・13名 医薬品包装コース・・・10名 最終合格者 44名

会場：合宿研修 湘南国際村センター 一般講義 JPI 会議室、各実地研修会場

3) 全日本包装技術研究大会

包装に関する工夫の実例や研究開発の成果を広く発表すると共に、同業・異種業界の関係者との相互の交流を深めることを目的に開催した。

催事名：第62回全日本包装技術研究大会（富山大会）

部 会：5部会（輸送包装、食品包装、医薬品／生活者包装、化粧品包装、環境包装）

会 期：11月21日（木）～22日（金）

場 所：富山国際会議場

参加数：354名

＜特別講演＞

「つなぐ ～100年企業5代目社長の葛藤と挑戦～」

株式会社 能作 代表取締役社長 能作 千春 氏

＜部会発表＞ 60件

4) 研究会、講習会、セミナー、シンポジウム等の研修活動

(1) JPI WEB フォーラム

2021 年度より「月例研究会」から「JPI WEB フォーラム」に催事名を変更し、情報提供の柱として本支部協力のもとウェビナーで毎月開催している。

①4 月 JPI WEB フォーラム

4 月 19 日（金） JPI 本部主催 参加者 271 名

テーマ：WPO「リサイクルのための包装設計ガイドライン」ご紹介

講師：公益社団法人日本包装技術協会 包装技術研究所

包装材料研究室 室長 井出 安彦

4 月 23 日（火） JPI 本部主催 参加者 110 名

テーマ：中食ベンダーが活用する高速トレーシーラーとラベルレスサーマル印字

講師：株式会社インダ DX・SI ベンダー部 営業一課 課長 大森 桂太 氏

②5 月 JPI WEB フォーラム

5 月 9 日（木） JPI 本部主催 参加者 161 名

テーマ：フローズンチルド食品包装設計の基礎と物流 2024 年問題

講師：東洋食品工業短期大学 包装食品工学科 准教授 宮尾 宗央 氏

5 月 15 日（水） JPI 本部主催 参加者 240 名

テーマ：サーキュラーエコノミー時代に向けた包装設計の在り方とは

講師：株式会社パッケール 代表取締役社長 内村 元一 氏

③6 月 JPI WEB フォーラム

6 月 13 日（木） JPI 本部主催 参加者 302 名

テーマ：海外の紙・モノマテ包装ソリューション-シンテゴンテクノロジーの技術を中心に-

講師：シンテゴンテクノロジー株式会社 食品営業部長 岡本 龍彦 氏

食品事業部 シニアマネージャー 高橋 誠一郎 氏

6 月 26 日（水） JPI 本部主催 参加者 168 名

テーマ：冬季におけるけい線の硬化を考慮したけい線折り曲げ強さの基準の作成

講師：王子コンテナ株式会社 釧路工場 品質保証室 竹内 漱汰 氏

④7 月 JPI WEB フォーラム

7 月 26 日（金） JPI 本部主催 参加者 173 名

テーマ：ガラスびんのポジショニングと、成形基礎および技術動向

講師：日本山村硝子株式会社 ガラスびんカンパニー

生産本部 技術開発部 型成形チーム リーダー 大西 邦和 氏

7 月 31 日（水） JPI 関西支部主催 参加者 308 名

テーマ：包装関係者と消費者に聞きました！～資源回収と容器包装に関する意識調査～

講師：日報ビジネス株式会社 包装編集部係長 吉野 加代子 氏

⑤8月 JPI WEB フォーラム

- 8月21日(水) JPI 関西支部主催 参加者 228名
 テーマ：物流2024年問題と包装
 講師：日本トールカンパニーストック株式会社 紙器事業本部 紙器営業部 岸本 浩二 氏
- 8月22日(木) JPI 本部主催 参加者 247名
 テーマ：AIによるパッケージデザインの生成と評価
 講師：株式会社プラグ 代表取締役社長 小川 亮 氏

⑥9月 JPI WEB フォーラム

- 9月26日(木) JPI 関西支部主催 参加者 218名
 テーマ：紙製緩衝材への取り組み～開発の変遷と事例紹介～
 講師：京セラドキュメントソリューションズ株式会社
 技術本部 PS1 統括技術部 第14技術部 MD54課 板野 篤 氏
- 9月27日(金) JPI 本部主催 参加者 170名
 テーマ：鉄道輸送の振動衝撃とその特徴
 講師：中嶋包装・輸送技術コンサルティング 代表 中嶋 理志 氏

⑦10月 JPI WEB フォーラム

- 10月3日(木) JPI 本部主催 参加者 238名
 テーマ：プラスチックを素から変えていく。三井化学が進めるバイオマス化・ケミカルサイクルの取り組み
 講師：三井化学株式会社 グリーンケミカル事業推進室
 ビジネスディベロップメントグループ グループリーダー 松永 有理 氏
- 10月8日(火) JPI 関西支部主催 参加 152名
 テーマ：JALの客室・ラウンジサービスにおける新規石油由来の使い捨てプラスチック全廃に向けた取り組み
 講師：日本航空株式会社 カスタマー・エクスペリエンス本部
 商品・サービス開発部 客室サービスグループ マネジャー 岡澤 賢哉 氏

⑧11月 JPI WEB フォーラム

- 11月6日(水) JPI 中部支部主催 参加者 156名
 テーマ：プラスチックゴミ ゼロへの挑戦(ゼロ・エミッション)
 講師：グンゼ株式会社 プラスチックカンパニー グローバル営業部 営業企画課 課長 前原 志保 氏
- 11月8日(金) JPI 本部主催 参加者 167名
 テーマ：容器包装、プラスチック、都市ごみの日本型CEの実現に向けて
 講師：国立研究開発法人 国立環境研究所 資源循環領域・主任研究員 稲葉 陸太 氏
- 11月12日(火) JPI 関西支部主催 参加者 175名
 テーマ：買いに繋げるパッケージデザインの“伝える”チカラ
 講師：株式会社サンデザインアソシエーツ 代表取締役社長 松尾 政明 氏

⑨12月 JPI WEB フォーラム

12月4日(水) JPI 中部支部主催 参加者 92名

テーマ：被災者の命を守る段ボールベッドのその後～能登半島地震の対応について～

講師：J パックス株式会社 代表取締役 水谷 嘉浩 氏

12月5日(木) JPI 西日本支部・東北支部共催 参加者 176名

テーマ：2024 日本パッケージングコンテスト入賞作品発表会

①こんなトレイを待っていた！A 式ベースの「サッとスタックトレイ」

株式会社トーモク 開発営業第一部 野尻 佳佑 氏

②省材料・省工数で高緩衝力を実現した汎用ソフトタッチ段ボール緩衝材

TOTO 株式会社 ウォシュレット開発第三部 包装・印刷物 G 伊藤 勇樹 氏

③ノンスリップ・エコボックス

TOTO 株式会社 衛陶設計部 衛陶生産設計 第二 G 中島 みのり 氏

④2024 年問題を解決した輸送包装容器の改善事例

適正包装が生み出した製品不良ゼロと包装廃棄物ゼロ

株式会社東北ウエノ 営業技術部 田原 祐樹 氏

⑤1t 積載できて、リサイクルしやすい、ハイブリッドパレット！

支柱脱着式段積み輸送用デッキ

小型電子顕微鏡のスロープ付き梱包箱

ロジスティード株式会社 ロジスティクステクノロジー部 金井 俊介 氏

12月10日(火) JPI 本部主催 参加者 141名

テーマ：古紙の回収・利用の現状と発生量減少に伴う対策について

講師：公益財団法人古紙再生促進センター 業務部業務課担当課長 濱野 彰吾 氏

12月16日(月) JPI 東北支部主催 参加者 51名

テーマ：3GeV 高輝度放射光施設 NanoTerasu の概要について

講師：国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構

NanoTerasu センター 高輝度放射光研究開発部長 加道 雅孝 氏

⑩1月 JPI WEB フォーラム

1月15日(水) JPI 本部主催 参加者 74名

テーマ：工場設備における「空気の見える化」による省エネ対策提案、および今まで自動化出来なかった製品の省人化、省エネ機器提案

講師：SMC 株式会社 千葉営業所 係長 金子 進 氏

1月28日(火) JPI 中部支部主催 参加者 71名

テーマ：プチプチ®を活用した災害支援

講師：川上産業株式会社 事業管理部 事業管理課長 小森 智 氏

⑪2月 JPI WEB フォーラム

- 2月14日（金） JPI 関西支部主催 参加者 124 名
 テーマ：“伝わるデザイン” 認証を取得した“炊き込み御膳”の新パッケージ
 講師：江崎グリコ株式会社 デザイン部・部長 佐藤 敏明 氏
- 2月17日（月） JPI 本部主催 参加者 56 名
 テーマ：三菱電機の曲線型リニアトラックシステム開発への取り組み
 講師：三菱電機株式会社 名古屋製作所 ドライブシステム部次長 遠藤 泰宏 氏
- 2月19日（水） JPI 西日本支部主催 参加者 149 名
 テーマ：コンビニ弁当容器 平成の30年
 講師：三菱商事パッケージング株式会社 商品本部
 パッケージング・テクニカル・スペシャリスト 佐藤 久朗 氏
- 2月25日（火） JPI 本部主催 参加者 135 名
 テーマ：コールドサプライチェーンの現状と課題
 講師：旭化成アドバンス株式会社 輸送包装ソリューション営業部部長 赤尾 卓哉 氏

⑫3月 JPI WEB フォーラム

- 3月7日（金） JPI 関西支部主催 参加者 223 名
 テーマ：デジタル印刷技術とパッケージビジネスの革新
 講師：株式会社日本 HP デジタルプレス事業本部 インダストリアルセールス本部
 ラベル・パッケージ営業部 部長 永島 孝也 氏
 株式会社日本 HP デジタルプレス事業本部 インダストリアルセールス本部
 事業戦略部 ビジネス開発シニアスペシャリスト 仲田 周平 氏
- 3月11日（火） JPI 本部主催 参加者 250 名
 テーマ①：食品用器具・容器包装に関する最近の動きについて
 講師①：消費者庁 食品衛生基準審査課 課長補佐 今西 保 氏
 テーマ②：食品衛生法のポジティブリスト制度と食品接触材料安全センターの活動について
 講師②：一般財団法人化学研究評価機構 食品接触材料安全センター 企画調整室長
 梶原 健世 氏

(2) 包装情報ステーション

- 5月13日（月） オンライン配信 JPI 本部主催 参加者 90 名
 テーマ：SDGs をテーマとした食のバリューチェーン戦略
 講師：田中技術士事務所 代表 田中 好雄 氏
- 8月8日（木） オンライン配信 JPI 本部主催 参加者 208 名
 テーマ：Hispack2024 包装視察団報告
 講師：株式会社 資生堂 サステナブル開発推進室 熊坂 欽典 氏
 三菱商事パッケージング株式会社 経営企画本部長付部長 島田 賢一 氏

(3) コース

①第30回包装新人研修コース

4月4日(木)・5日(金) JPI 会議室(対面)

参加者 36名

第1日目

「包装の役割と包装を取り巻く現状」

加藤包装技術事務所 加藤 武男 氏

「包装に求められる包装材料」

加藤包装技術事務所 加藤 武男 氏

「生活者にやさしい包装：ユニバーサルデザインとは」

トータルプロネット 代表 岡 利彦 氏

第2日目

「包装を取り巻く規制・法律について」

白倉技術士事務所 所長 アイル知財事務所 弁理士 白倉 昌 氏

「包装設計の基礎と考え方 ―設計技法と事例―」

カゴメ株式会社 商品開発本部 新領域開発部 容器開発グループ 加藤 道昭 氏

「輸送環境と包装」

前 オリンパス株式会社 藤井 幸則 氏

「商品企画とパッケージデザイン～商品づくりのポイントとデザインの関わり～」

大日本印刷株式会社 ビジネスクリエイションセンター サービス開発本部

プランニング第2部 第1グループリーダー 丸上 智史 氏

②第57回包装基礎コース

5月21日(火)～24日(金) 浅草橋ヒューリックホール(対面)

参加者 70名

第1日目

「包装概論と包装技法」

大日本印刷株式会社 研究開発・事業化推進センター 事業開発本部

食とヘルスケア事業開発ユニット 開発第2部 第1課 課長 多久島 和弘 氏

「ガラスびん・金属缶・プラスチック容器の基礎」

アサヒビール株式会社 パッケージング技術研究所 富野 義孝 氏

「プラスチックフィルム」

ユニチカ株式会社 包装フィルム営業部 市場開発グループ 主任 鈴木 知治 氏

第2日目

「板紙・紙器」

株式会社クラウン・パッケージ 社長付 営業企画室 室長 八木野 徹 氏

「環境対応パッケージの喫緊の課題」

住本技術士事務所 所長 住本 充弘 氏

「食品包装設計の基本」

雪印メグミルク株式会社 ミルクサイエンス研究所 技術開発研究室

容器包装開発チーム主査 山住 弘 氏

第3日目

「段ボール」

王子コンテナ株式会社 営業本部 CS推進部 包装技術 主幹 中山 勝博 氏

「輸送包装設計」

株式会社石野製作所 専務取締役 高橋 二郎 氏

「段ボール包装設計」

レンゴー株式会社 包装技術第一部 東京包装技術第一課 担当課長 高比良仁司 氏

第4日目

「輸送包装の実際」

三菱電機株式会社 生産技術・ロジスティクス部 武田 正臣 氏

「パッケージデザイン概論」

武蔵野美術大学 造形学部 通信教育課程 教授 福井 政弘 氏

「防湿包装・ガス遮断包装（バリア包装）」

藤森工業株式会社 研究所 ライフサイエンス開発部 機能性容器包装開発グループ
上席主任研究員 小野松太郎 氏

③第2回循環型包装コース

11月14日（木） オンライン配信

参加者 125名

講師：住本技術士事務所 所長 住本 充弘 氏

④第47回段ボール包装設計コース

2月20日（木）・21日（金） JPI 会議室

参加者 42名

講師：レンゴー株式会社 包装技術第一部 東京包装技術第一課 担当部長 杉田 裕紀 氏

王子コンテナ株式会社 営業本部 CS推進部 設計・デザイン室（大阪工場駐在）

担当部長 小林 昌弘 氏

（4）2024パッケージングフォーラム

10月25日（金） 東京ビッグサイト東6ホールセミナーB会場

参加者 330名

テーマ①：脱プラ・減プラ・紙化の現状と課題

ー日本紙パルプ商事が提案する紙化パッケージの可能性ー

講師：日本紙パルプ商事株式会社 紙化ビジネスグループ グループ長

熊木 正視 氏

テーマ②：国内再生プラスチックを活用した衣類用柔軟剤容器の開発

講師：ライオン株式会社

江口 晴登 氏

テーマ③：『お防災』ー防災ギフトで地域振興と災害に強い社会の実現を目指すー

講師：大日本印刷株式会社 Life デザイン事業部 ビジネスクリエイションセンター

サービス開発本部 プランニング第1部第3G

鹿田 卓弘 氏

(5) セミナー・シンポジウム

①「第33回化粧品包装セミナー」

—化粧品の二次包材について—

9月18日(水) オンライン配信

参加者 41名

テーマ①:『化粧品二次包材におけるモノづくり品質について』

講師: 朝日印刷株式会社 メーク営業部メーク営業課 担当課長 清水 達郎 氏

テーマ②:『化粧品における模倣品被害と対策トレンド』

講師: TOPPAN デジタル株式会社 セキュアデバイス開発部

セキュア事業推進チーム 係長 島村 純一 氏

テーマ③:『2次包装から見た今後の展開~難処理古紙のリサイクルモデルの構築~』

講師: 上六印刷株式会社 研究開発部 部長 武内 脩二 氏

テーマ④:『様々な社会問題に対応するためのパッケージ』

講師: トーイン株式会社 営業本部 部長 安藤 彰博 氏

トーイン株式会社 クリエイティブ企画部 次長 石原 由紀子 氏

②「第20回包装材料セミナー」

—包装業界での環境への対応と期待される今後の取り組み—

1月24日(金) オンライン配信

参加者 45名

テーマ①:『GX市場創造に向けた取組について』

講師: 経済産業省 GX グループ 環境政策課 環境経済室 係長 竹下 敬太 氏

テーマ②:『プラスチック資源が循環する社会に向けた新たなケミカルリサイクルの取り組み』

講師: 大阪大学 大学院工学研究科 教授 宇山 浩 氏

テーマ③:『カネカ生分解性バイオポリマー Green Planet® の開発』

講師: 株式会社カネカ Global Open Innovation 企画部 主任 宅 佑奈 氏

テーマ④:『段ボール包装における2024年物流問題への対応』

講師: レンゴー株式会社 パッケージング部門 生産本部 生産業務部 物流課 課長

眞田 浩平 氏

パッケージング部門 開発本部 包装技術第一部

東京包装技術第二課 課長

半田 雅之 氏

③「2024年度医薬品包装セミナー」

—サステナブルな医薬品包装のあり方を考える—

3月7日(金) オンライン配信

参加者 46名

テーマ①:『ケミカルリサイクル技術の課題と展望』

講師: 日揮ホールディングス株式会社 サステナビリティ協創ユニット

ケミカルリサイクルチーム・プログラママネージャー 島村 卓宏 氏

テーマ②:『環境に優しいPTP包装技術の取り組みについて』

講師: CKD株式会社 自動機械事業本部 技術統括部 包装技術部

第1G グループリーダー 河田 陽介 氏

テーマ③：『人間工学で包装設計に目標と評価を！』

講 師：国立大学法人千葉大学

デザイン・リサーチ・インスティテュート・教授 下村 義弘 氏

④「第12回包装近未来シンポジウム」

＊講師の都合上、次年度4月に当年度事業として開催
ープラスチック包装材についての大トレンドー

2025年4月25日（金） オンライン配信

参加者 54 名

テーマ①：『プラスチック汚染防止条約交渉の現状と今後の課題』

講 師：環境省 水・大気環境局 海洋環境課

海洋プラスチック汚染対策室 室長 中山 直樹 氏

テーマ②：『プラスチック資源循環の海外政策動向について』

講 師：三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社 政策研究事業本部

環境・自然ユニット 地球環境部 主任研究員 仲嶋 翼 氏

テーマ③：『プラスチック容器の環境対応に対する国内外の考え方と取り組み』

講 師③：キューピー株式会社 食創造研究所

シニア・コーポレート・サイエンティスト 高山 崇 氏

パネルディスカッション（講師と企画委員）

テ ー マ：『プラスチック包装材料のリサイクルの課題

～国内向けと EU 向けなどの包装製品について～』

5) 包装懇話会 （年間登録メンバー制）

東京本部（いずれも対面及びオンラインによるハイブリッド開催）

（1）食品・流通包装懇話会

・7月4日（木）：第182回 講演会

1. 国外における食品接触材料の動向

講師：一般財団法人化学研究評価機構 食品接触材料安全センター 石動 正和 氏

2. 国内における食品接触材料の動向

講師：一般財団法人化学研究評価機構 食品接触材料安全センター 梶原 健世 氏

・9月27日（金）：第183回 見学会

株式会社レゾナック 川崎事業所ケミカルリサイクルプラント

・12月5日（木）：第184回講演会

1. 成長指向型の資源自律経済の確立に向けた取組について

講師：経済産業省 資源循環経済課 岡田 時房 氏

2. プラ循環経済に向けた技術開発と実装にむけて

講師：株式会社アールプラスジャパン 大竹 篤 氏

3. プラ資源循環に向けた製造事業者としての課題・取り組みについて

講師：大日本印刷株式会社 Life デザイン事業部 岩淵 美香 氏

・2月6日（木）：第185回講演会

1. キリンググループのDX戦略と生成Ai活用の現在地

講師：キリンホールディングス株式会社 デジタルICT戦略部 永沢 拓也 氏

2. 自足可能な食品物流に向けたF-LINEプロジェクトの取り組み

講師：F-LINE 株式会社 物流未来研究所 坂本 卓哉 氏

(2) 医薬品包装懇話会

・6月21日（金）：第165回 講演会

1. 環境負荷低減の包装（PTPシート、ピロー等）コスモパックシリーズ

講師：株式会社カナエ 包装技術開発センター 包装開発部 部長 中西 洋文 氏

2. 医薬品表示や容器包装への要求 ～医療安全の視点から簡秀技術の魅力を探る～

講師：京都薬科大学 薬学教育系 教育研究総合センター

臨床薬学教育研究センター 特命教授 四方 敬介 氏

・9月19日（木）：第166回 講演会

1. 変わる薬局・薬剤師業務～医薬品包装に求められるもの～

講師：ファルメディコ株式会社 代表取締役社長 狭間 研至 氏

2. モーラステープ包装袋へのリサイクルPET使用について

講師：久光製薬株式会社 研究開発本部 SETT リサーチユニット

ユニットディレクター 若松 真人 氏

・11月25日（月）は諸事情により開催中止

・2月13日（木）：第167回 講演会

1. 医薬品包装のデジタルトランスフォーメーション：改版プロセスの革新と挑戦

講師：大光印刷株式会社 代表取締役社長 中村 一紀 氏

2. 医薬品紙器包装の現況について

講師：シグマ紙業株式会社 常務取締役 嶋田吉孝 氏

3. ジェネリック医薬品企業としての包装技術・包装設計（ユーザビリティ、アクセシビリティ、環境負荷低減への取り組み）

講師：沢井製薬株式会社 生産統括部 包装技術グループ 結城 健 氏

4. シリアライゼーションに関する各国の規制内容と動向について

講師：第一実業株式会社 ヘルスケア事業本部 西部ヘルスケア営業部

富山出張所 所長 中野 竜介 氏

(3) パッケージデザイン懇話会

・5月21日（火）：第167回 講演会

愛おいしい、お菓子とパンの包み

講師：文筆家 甲斐 みのり 氏

・8月30日（金）：第168回 講演会

飛ぶ動物と泳ぐ動物の機能的な流体力学デザイン

講師：東京工業大学（現・東京科学大学） 工学院機械系 田中 博人 氏

- ・ 11 月 26 日（火）：第 1 6 9 回 講演会
ビジネス×デザインの「リアル」
講師：日経デザイン編集長 山下 奉仁 氏
- ・ 2 月 26 日（水）：第 1 7 0 回 講演会
書体とパッケージ。デザインが果たす 3 つのミッション
講師：株式会社モリサワ デザイン部門マネージャー 阪本 圭太郎 氏
タイプデザイナー 富岡 清美 氏

（4）輸送包装懇話会

- ・ 7 月 25 日（木）：第 1 5 6 回 講演会
 1. 多様化、複雑化する物流課題に対しグローバルな視点で解決を目指す-Tri-Wall Group の取り組み
講師：トライウォールジャパン株式会社 営業部 飯島 規道 氏
 2. 海外での包装展示会と市場調査
講師：公益社団法人日本包装技術協会 包装技術研究所 金子 武弘
- ・ 9 月 20 日（金）：第 1 5 7 回 講演会
 1. 循環型社会の実現に向けた、静脈物流サービスの紹介
講師：株式会社日新 DX 推進部 ハコラボ・バッテリー事業推進課
設楽 雄馬 氏・杉山 京平 氏
 2. リターナブル包装の取り組み～2024 年問題や BCP 対策に役立つ NX リューション～
講師：日本通運株式会社 ネットワーク商品企画部
藏田 隆典 氏・宮田 光揮 氏・長澤 将秀 氏・牧原 尚秀 氏
- ・ 11 月 6 日（水）：第 1 5 8 回 見学会
清掃工場・埋立処分場見学（品川清掃工場・中央防波堤埋立処分場・廃棄物処理施設）
- ・ 2 月 7 日（金）：第 1 5 9 回 講演会
 1. ISO 規格化の進む CoC と認証制度の動き：マスバランス法の国際標準化動向
講師：一般財団法人日本規格協会 システム系・国際標準化ユニット 岡本 裕 氏
 2. EU 包装・包装廃棄物規則（PPWR）の概要と将来像
講師：公益社団法人日本包装技術協会 包装技術研究所 井出 安彦

＜交流事業＞

国内事業においては、半日の工場見学を年 3 回実施の予定である。海外事業においては、アジア包装連盟（APF）および世界包装機構（WPO）の理事会および併催行事が開催された。

1）国内事業

（1）月例見学会（年 3 回開催）

①第 3 0 4 回 見学会

開催日：9 月 25 日（水）

参加者 17 名

見学先：一般財団法人食品分析センター 多摩研究所 衛生科学センター

②第305回 見学会

開催日：2月6日（木）

参加者 27 名

見学先：キッコーマン株式会社 野田工場 もの知りしょうゆ館

③第306回 見学会

開催日：3月4日（火）

参加者 21 名

見学先：日本貨物鉄道株式会社 隅田川駅

2) 海外事業

(1) 世界包装機構（WPO）との連携

①前期 WPO 理事会および一連の関連行事

6月12日（水）～6月15日（土）の日程で、タイ・バンコクにて開催され、日本代表として出席した。

- ・6月12日（水） パッケージングフォーラム
- ・6月13日（木） ワーキンググループ
- ・6月14日（金） 理事会
- ・6月15日（土） ワールドスター表彰式

②後期 WPO 理事会および一連の関連行事

11月20日（水）～11月22日（金）の日程でアルゼンチンにてハイブリッド開催され、オンラインにて参加した。

- ・11月20日（水） ワーキンググループ・WPO セミナー
- ・11月21日（木） 理事会
- ・11月22日（金） 各国代表との交流会

③WPO 主催包装コンテスト（ワールドスター 賞）の審査：オンラインにて（12月）

(2) アジア包装連盟（APF）との連携

①6月14日（金）～15日（土）の日程で、タイ・バンコクにて開催された戦略会議に出席した。また同時期に開催の展示会、PROPAK アジアにも APF メンバーとして出席した。

- ・6月12日（水） プロパックアジア開会式
- ・6月13日（木） UNIDO-APF 会議
- ・6月14日（金） 懇親会
- ・6月15日（土） APF 戦略会議

②APF 主催の包装コンテスト（アジアスター）の審査：オンラインにて（10月末）

③11月5日（火）～9日（土）の日程で、インドネシア・バリにて理事会および一連のイベントが開催された。

- ・11月5日（火） 名誉会員会議
- ・11月6日（水） ワーキンググループ・理事会
- ・11月7日（木） パッケージングコンフェレンス、アジアスター表彰式
- ・11月8日（金） パッケージングコンフェレンス
- ・11月9日（土） 交流会

(3) 国際包装研究機関連絡会 (IAPRI) との連携

IAPRI 事務局とは、メール等により随時情報交換を行い、適宜情報共有を行っている。

(4) 包装視察団の派遣

- ・2024年5月5日(日)～12日(日)にスペイン・バルセロナにて開催された国際包装展 HISPACK2024 に包装視察団を派遣した。展示会では、HISPACK 事務局主催にて「ジャパン・デー」が催され、日本包装技術協会及び会員企業から講演講師を派遣した。
- ・2024年6月12日(水)～16日(日)の日程で、タイ・バンコクにて開催されたプロパックアジア包装展示会へ包装視察団を派遣した。

(5) 海外からの来日包装関係者の受入れ

- ・2024年5月6日(月)～5月17日(金)の日程で、ミシガン州立大学包装学部が研修プログラムのため来日した(学生19名)。日本包装技術協会がプログラムの作成に協力し、包装関連企業・工場・団体の訪問にあたってのアテンド、通訳を行った。

<普及啓発事業> 東京本部

本事業の中心となる日本パッケージングコンテストは、経済産業省、日本商工会議所等の後援のもとに毎年開催されている。一般に対してもホームページからの募集を行っており応募が可能である。本年度も大学、公的機関及び消費者団体の方々で構成された審査員によって各賞を決定し、入賞作品(最高賞は経済産業大臣賞)をグッドパッケージ展として「東京国際包装展—TOKYO PACK 2024」の特設会場において一般公開した。

また木下賞は、本年度も官学からの有識者で審査員を構成し、応募はホームページを通して一般にも公開されるため誰でも無料で応募できるが、審査基準は大変高く、また厳しいものとなっている。第48回となる今年度は、諸事情により例年より4か月遅く募集を行い、審査選考の結果、以下に決定した。

受賞者発表と表彰式は、東京国際包装展—TOKYO PACK 2024 レセプションにて行った。

なお来年度、第49回木下賞は例年通り、2025年2月1日から3月31日の間に作品募集を行う予定である。

1) 第48回木下賞

6月1日～7月31日：推薦募集、9月：審査会、10月23日：表彰式

応募21作品のうち7作品が受賞した。

《研究開発部門》

- ・『『おかえりつめかえパック』の開発 ～使用済み詰め替えパックの水平リサイクル技術の具現化～』
花王株式会社、ライオン株式会社、株式会社フジシール、三井化学株式会社、
株式会社プライムポリマー、東ソー株式会社

《改善合理化部門》

- ・「コカ・コーラ® 500ml r-PET 100% 軽量化ボトル」
日本コカ・コーラ株式会社、東洋製罐株式会社

《新規創出部門》

- ・「サーマル印刷技術 『ラベルレスサーマル』」
株式会社リコー

◎包装技術賞

- ・「超軽量アルミ飲料缶 ～缶底から環境貢献～」
東洋製罐株式会社
- ・「サーキュラーエコノミーを実現するガラスびんの研究開発」
日本山村硝子株式会社
- ・「410ml オールリサイクルボトル」
アルテミラ株式会社、MA アルミニウム株式会社
- ・「プラスチック製医薬品ボトルの「環境配慮設計ガイド(中間案)」の策定と、再生原料からの再生製品作成」
大日本印刷株式会社、福岡県、(公財) 福岡県リサイクル総合研究事業化センター、
(公社) 福岡県薬剤師会

2) 2024日本パッケージングコンテスト(第46回)

審査委員は17名で経済産業省をはじめとする公的組織からの代表や学識経験者によって構成され、企業からの参加はない。(審査委員長：東京大学名誉教授 小野 擴邦 氏)

審査選考 6月7日(金)

表彰式 8月28日(水) 東京ガーデンパレス

応募数 392点 入賞 129点(内、ジャパンスター賞 13点)

経済産業大臣賞：『紙エール デザインウィンドウ』 日本紙パルプ商事株式会社

3) 2024グッドパッケージング展

10月23日(水)～25日(金) 「TOKYO PACK 2024」会場内特設ブース

上記コンテストにおいて入賞したパッケージ129点(ジャパンスター賞13点、グッドパッケージング賞116点)の展示を「TOKYO PACK 2024」の会場で行った。

また入賞したパッケージは、すべて作品説明を和英で作成し、機関誌「包装技術」で紹介する他、小冊子を作成しPR活動を行った。

2. 展示会事業 (公益目的事業 2)

1) TOKYO PACK 2024(2024東京国際包装展)の開催

TOKYO PACK 2024は、本年10月23日(水)～25日(金)までの3日間、東京ビッグサイト東1～6ホールを使用し開催し、盛況のうちに終了した。30回目を迎える今回の開催テーマは「世界が驚く包装イノベーションを！～TOKYO PACK から世界へ～」。日本が世界に誇る「環境」・「機能」・「次世代技術」・「印刷・表示技術」の4つのキーワードを推奨テーマと設定し、TOKYO PACK から世界へ包装の最新情報を発信した。

また、TOKYO PACK 2024新企画として、別途希望社によるメインブースへの誘導サインとなる「出展社インデックスコーナー」、TOKYO PACK へ初めて出展される企業を対象とした「パッケージング・マルシェ」、JPIブランドオーナー企業「包装の取り組み」ポスター展示コーナーを会場内に開設した。

昨年 7 月 30 日（火）より来場事前登録の受付を、昨年 8 月 27 日（火）よりセミナー事前登録の受付を行った。来場者の更なる包装力向上が図れるよう、出展社との交流をはじめ、会期中開催する併催事業を通じ、学びの場としても活用いただけるよう、実行委員会を中心に審議検討を重ね、そして関連機関とも連携し準備を進めた。

名 称：TOKYO PACK 2024 － 2024 東京国際包装展

Tokyo International Packaging Exhibition 2024

会 期：2024 年 10 月 23 日（水）～25 日（金） 10:00～17:00

会 場：東京ビッグサイト(東京国際展示場) 東 1～6 ホール

特別協力：一般社団法人日本包装機械工業会

後 援：経済産業省 他 7 団体

協 賛：包装関連団体 100 団体

出展規模：725 社・団体、2,313 小間

入場者数：221,301 名

来場登録者数：70,712 名（うち海外：6,045 名）

出展内容：包装資材・容器 包装機械 印刷・包材加工機械 食品・医薬品・クリーン関連機材
検査・計測・環境関連機材 包装デザイン・サービス 次世代テクノロジー
包装・物流ソリューション 海外出展

併催行事：2024 グッドパッケージング展 出展社による最新包装技術セミナー

2024 木下賞受賞作品展 PACKAGE DESIGN PAVILION 2024 他

◎TOKYO PACK 2026 会期について◎

【会期】2026 年 10 月 14 日（水）～16 日（金）までの 3 日間

【会場】東京ビッグサイト東 1 - 3, 7, 8 ホール

※東京ビッグサイト大規模改修により次回 TOKYO PACK 2026 の展示面積が大幅に減少する。2025 年 9 月 24 日（水）より出展申込受付開始予定。

2) 暮らしの包装商品展 2025 の開催準備

暮らしの包装商品展は、包装が果たす役割や重要性について、理解を深めていただくことを目的とする生活者を対象とした普及啓発事業である。国民生活における包装の役割や最新の技術動向、各企業での取り組み、そして循環型社会の構築に向けて、生活者と包装関係者が共に集い、より良い包装について共に考える場として、毎回多くの生活者が参加し盛況に開催している。

今回は日本一の広さを誇る商業施設「イオンレイクタウン」に開催場所を移し、「包装でみんなの生活を豊かに！～これから包装ができること～」をテーマに、出展社募集など開催に向け準備を進めていく。

と き：2025 年 10 月 3 日（金）・4 日（土） 2 日間

ところ：イオンレイクタウン Kaze 光の広場

出展募集定数：8 社（定数となり次第、締切）

2024 年 12 月 3 日（火）より出展申込受付開始

- 3) アジア・ヨーロッパ主要各国の国際包装展への TOKYO PACK PR ブース参加
各国の今後の開催状況などを鑑み検討する。

3. 調査研究事業（公益目的事業 3） 東京本部

現在、日本は、ISO/TC122(包装)の議長及び、国際幹事国を引受けており、当協会は、包装分野の国内審議団体として、ISO 規格の開発・改廃を進め、これらを通じて国際間の相互理解促進に寄与している。

ISO における日本からの提案である、「令和 6 年度国際ルール形成・市場創造型標準化推進事業費（戦略的国際標準化加速事業：政府戦略分野に係る国際標準開発活動）（テーマ名：適正包装に関する国際標準化）事業」は、令和 4 年度開始の 3 カ年の事業計画で、本年度はその 3 年度目に当たる。新規事業として、仮名称 包装—アクセシブルデザインの開発について、新規提案に向けて予備調査と共同提案者との意見交換をスタートさせる。既存の 4 規格を 1 規格に整理・統合し利便性を高め、更には新しいデータや図表に更新する計画である。継続事業として ISO/TR18607「ISO TR(技術報告書)18600 規格群に基づく包装の環境配慮設計ガイドブック、改正 ISO21898「非危険物用フレキシブルコンテナ」の開発を進めている。

このうち ISO21898「非危険物用フレキシブルコンテナ」については、8 月 16 日に規格発行に至った。また新規提案を検討していた「段ボール箱の形式」については、海外の関係団体との意見交換の結果、提案を見送ることとした。

これら開発事業以外にも国際幹事国として ISO/TC122(包装)における様々な規格開発の支援を行うとともに、他国の提案にあっては、我が国にとって不利益を及ぼす規格とならないよう、適宜規格案の修正・提案を行っている。また付帯する国際会議では、国際幹事国として、現地に関係者を派遣、準備、運営に当たった。

包装は国民の日常生活にも深く係っており、絶えずその標準を見直し、生活し易い環境を整えることが求められていることから、本年度も JIS 規格の見直し作業も精力的に進めている。

日本の包装産業出荷統計に関する調査研究は、昭和 38 年の創立以来欠かすことなく継続しており、本年度も 2023 年の統計を編纂し、これを当会機関誌とホームページで紹介した。

1) ISO/TC122(包装)の議長・国際幹事国(事務局)としての活動

- (1) 各WG（規格開発作業グループ）の国際会議への参加

2) ISO/TC122(包装)の国内審議団体としての調査研究及び標準開発活動

- (1) 包装全般の国際規格に関する支援

- (2) 「国際標準開発」に対する調査研究

- ①仮名称 段ボール箱の形式呼称の 国際標準の開発（日本新規提案）：提案見送り
- ②ISO/TR18607：「ISO 18600 規格群に基づく包装の環境配慮設計ガイドブック」の 国際標準の開発（日本新規提案）
- ③ISO 21898：「非危険物用フレキシブルコンテナ」の国際標準の開発（日本改正提案）
- ④ISO 7683 プラスチックボトルに使用される取り外し可能なシュリンクラベルの設計ガイドライン及び試験方法の開発（韓国提案への対応）：10 月 11 日に規格発行された
- ⑤ISO 4924 宅配便包装におけるエコデザインの原則と適用（中国提案への対応）

⑥ISO 17508 危険物輸送包装—ポリエチレン、フッ素化ポリエチレン及び共押出プラスチックの適合性試験（ドイツ提案への対応）

⑦ISO 16103 危険物輸送包装—リサイクルプラスチック材料（改正ドイツ提案への対応）

（3）「国際標準改正」に対する調査研究

2023年のISO総会の指示事項に基づき、ISO11156 アクセシブルデザインの

改正案作成を開始した。英国との共同開発、共同提案により進める。10月に国内対策委員会を開催し、英国が作成した原案へのコメントを集め、整理した、2025年1月には英国に出張し3月に予定するNP提案に向けて打ち合わせを行う。

3）JIS 制定・改正に関する調査研究

（1）包装に関するJISの原案作成事業の実施

JIS Z 0241「包装—温度制御が必要な小包の輸送に用いる包装容器の保冷性能試験方法」が2024年10月21日公示で発行された。

（2）5年経過したJISの定期見直し

JIS Z 0203「包装貨物—試験の前処置」の元となるISO 2233と整合を図るべく改訂を進めている。

上記標準化開発、調査研究は、政府関連機関からの委託事業又は日本規格協会の公募事業である。

4）包装産業出荷統計に関する調査研究

（1）2023年の日本の包装産業出荷統計に関する調査研究

包装・容器出荷金額	6兆1,595億円	（前年 6兆0,769億円	前年比 101.4%）
-----------	-----------	---------------	-------------

包装関連機械生産金額	5,085億円	（前年 4,886億円	前年比 104.1%）
------------	---------	-------------	-------------

合計金額	6兆6,680億円	（前年 6兆5,656億円	前年比 101.6%）
------	-----------	---------------	-------------

（2）2024年の日本の包装産業出荷統計に関する調査研究

包装産業関連各団体より統計資料収集

5）包装技術教育高度化に関する研究・開発

現在、進めている包装技術に関する研究、啓発事業は次のとおりである。

（1）関係団体の標準化事業への協力

関係団体からの要請に応じ、委員会に出席するなど標準化、研究事業への協力

（2）啓発活動

出版活動と連携して「Q&A 容器包装規制・基準の手引き」誌

4．出版関連事業（収益事業） 東京本部

月刊機関誌「包装技術」は、当会会員により構成された編集委員会によって企画が行われており、創立以来、欠号なく刊行されている。本年度も引続き誌面の一層の充実を図りながら、月刊機関誌として毎月刊行した。本誌は、包装技術及び関連情報が中心となっているが、当会事業の案内や調査研究の成果、さらに新会員の紹介など幅広い内容を掲載し公開している。

本事業は会員への機関誌配布のみならず収益事業として、一般販売による購読収入と広告掲載収入によって進められている。

また、「包装技術便覧」を1995年以来の全面改訂版（第5版）として2019年2月に発刊、「包装用語早わかり（包装用語辞典）」を2022年10月に発刊、「包装...知っとく知識 改訂2版」を2024年10月に発刊したことを受け、包装産業界の人材教育、研究開発の一助として広報並びに販売を行った。

1) 機関誌「包装技術」の刊行 月刊（毎月1日発行、2025年3月号で通巻743号）

■2024年4月号 特集：物流2024年問題への対応

- ①物流の持続的成長に向けた取組み／国土交通省 平澤 崇裕 氏
- ②物流の変化ー持続可能な物流の実現に向け荷主が取り組むべきことー／
(株)NX 総合研究所 大島 弘明 氏
- ③包装改革による2024年問題への対応／レンゴー(株) 榎本 匡宏 氏、東 則嘉 氏、
高比良 仁司 氏
- ④持続可能な食品物流に向けた外装とはーF－L I N Eプロジェクトの取組みを通じて
ー／F－L I N E(株) 坂本 卓哉 氏
- ⑤冷凍パスタのパレット積載効率の向上による物流負荷低減／
(株)日清製粉グループ本社 竹田 翼 氏
- ⑥パレット画像認証システムの開発・導入／TOTO(株) 齋藤 圭介 氏
- ⑦物流拠点「首都圏DC」を開設ー物流DX・ロボティクス化推進／YKKAP(株) 横井 志朗 氏

■2024年5月号 特集：第61回全日本包装技術研究大会優秀発表

- ①鉄道コンテナ輸送における振動環境と貨物挙動の把握に向けた検討／
(公財) 鉄道総合技術研究所 小杉 一斗 氏、梅原 康宏 氏、
(地独) 大阪産業技術研究所 津田 和城 氏、細山 亮 氏
- ②トイレタリー商品における振動試験法の開発／花王(株) 中本 和伸 氏、野口 徳司 氏
- ③「瞬・開・陳！パカッと段ボール箱」の開発／レンゴー(株) 高比良 仁司 氏、
日本コカ・コーラ(株) 田中 明子 氏
- ④冬季におけるけい線の硬化を考慮したけい線折り曲げ強さの基準の作成／
王子コンテナ(株) 竹内 漱汰 氏、下村 充 氏
- ⑤光透過量解析による段ボール擦れ損評価方法の開発／
王子コンテナ(株) 波多野 諭志 氏
- ⑥水平リサイクル可能な循環型即陳折りたたみコンテナ（ぐるぐるBOX®）／
花王(株) 千葉 哲也 氏、藤田 実智昭 氏
- ⑦デジタル印刷機用 大径感光ドラムの新包装／京セラ(株) 中川 凌 氏
- ⑧紙素材を使用したパスタ向け包材の開発／(株)日清製粉グループ本社 武部 明展 氏
- ⑨わかめスープ3食入り外袋の環境対応（プラスチック削減・紙マーク化）／
理研ビタミン(株) 柴田 剛 氏、齋藤 郁夫 氏
- ⑩カゴメトマトジュース「スマートecoボトル」の開発／カゴメ(株) 大石 陽香 氏
- ⑪環境負荷低減素材を使用したブリスター成形材の開発／(株)カナエ 吉田 灯薫 氏
- ⑫日用品使用済み製品・容器回収・再生実証事業の成果と課題／ライオン(株) 中川 敦仁 氏

- ⑬患者様と医療現場のニーズに応えるための「カード一体型パッケージ」の開発／
エーザイ(株) 坂口 貴久 氏

■2024年6月号 特集：包装機械・検査装置

- ①大型のフォームフィルシール機の上市ー日本初の純国産機 安定した品質を実現ー／
四国化工機(株) 岩田 修一 氏
- ②フィルム使用量を削減する食品トレー包装機トレーラッパー「STE シリーズ」／
大森機械工業(株) 今村 禎 氏
- ③超音波式ヒートシール検査機「ULTRASONICA®」について／
ヤマハファインテック(株) 佐藤 優典 氏、奈良 晃寛 氏、林 高廣 氏
- ④包装フィルム用 UV レーザプリンタ／(株)キーエンス
- ⑤ブリスタ包装における環境に優しい新包装技術／CKD(株) 喜久川 智美 氏
- ⑥ネック搬送式 充填巻締機「BTW シリーズ」の開発／静甲(株) 市川 裕昭 氏
- ⑦「2024 年問題」物流業界における省力化・省人化に貢献／ストラパック(株) 中島 友幸 氏
- ⑧自動包装システムで叶える次世代包装ソリューション／王子コンテナ(株) 山縣 茂 氏
- ⑨重量選別機 AW 9 シリーズ「超高速モデル」の開発／アンリツ(株) 澤野 啓二 氏
- ⑩物流コスト削減に向けた「縦詰め」の有用性について／(株)イシダ 芝 恭平 氏

■2024年7月号 特集：包装 × DX

- ①いちご選果・パック詰めをロボットで実現！／(株)安川電機 松浦 英典 氏、小崎 聖那 氏
- ②容器・アプリ・デバイスで食塩使用量を“見える化”する調味料 IoT サービス『ソルとも
(Saltomo)』／東洋製罐グループホールディングス(株) 三木 逸平 氏
- ③中小規模の食品工場に最適なロボットパッケージの開発ー労働力不足を補完する小袋移載
ロボット、協働パレタイズロボットー／(株)Closer 櫻井 理紗 氏
- ④CAE を活用した形状設計アイデアの考案ー改ざん防止キャップを例としてー／
ライオン(株) 定家 恵実 氏
- ⑤AI 予測モデルで瞬時に容器包装開発シミュレーション／
アルテアエンジニアリング(株) ベッロージ ピエトロ 氏、黄 範 氏
- ⑥落下衝撃シミュレーション技術を活用した物流コスト低減の取り組み／
(株)リコー 合田 秀之 氏、末廣 真也 氏、リコーテクノロジーズ(株) 志津 慶明 氏

■2024年8月号 特集：人と地球に優しい食品包装

- ①温室効果ガス排出量を4割削減する次世代飲料缶蓋「EcoEnd™」／
東洋製罐(株) 高橋 成也 氏
- ②“おいしさ・ながもち・きもちいい”バリアスキンパック『おいしさスキン®』／
住友ベークライト(株) 松岡 みなも 氏
- ③調味料容器の水平リサイクル率を向上する二重構造容器「スポッと eco ボトル」／
キョーラク(株) 大村 一平 氏
- ④「森永はぐくみ液体ミルク」向けアルミパウチの開発／藤森工業(株) 小嶋 健太 氏
- ⑤真空率 99.5%を実現する超高真空容器について／
(株)インターホールディングス 成井 五久実 氏
- ⑥調味料・食用油用リサイクルペットボトルの安全性評価に関する研究について／
(株)Mizkan 小塚 莉加 氏

■2024年9月号 特集：シン・紙包装

- ①軟包装代替紙「パピタフ™」「パピクリスタル™」について／
日本製紙パピリア㈱ 飯森 武志 氏
- ②レトルト対応の紙製スタンディングパウチの開発／TOPPAN㈱ 岡野 哲也 氏
- ③セミスルー半透明感熱紙の開発ー／王子イメージングメディア㈱ 梅本 卓史 氏
- ④生分解性樹脂をヒートシール材に用いた紙外装パッケージの開発「4種のひとくちスイーツ」ー外袋に接着層が生分解性タイプのヒートシール紙を採用ー／
㈱ブルボン 徳永 崇 氏、田澤 貴子 氏、日本製紙㈱ 角田 浩佑 氏、増野 由圭莉 氏、
村上 雅章 氏、㈱カネカ 岡田 康則 氏、堀川 貴生 氏
- ⑤客室・ラウンジにおける新規石油由来使い捨てプラスチック削減／日本航空㈱池田 華子 氏
- ⑥限界をこえろ！パパッとパピエコ BOX の挑戦～「eco フレンドリー」プロジェクト第4弾
／サッポロビール㈱ 横石 智彦 氏
- ⑦使用済み飲料用容器の古紙入り紙糸を用いた布製品「choito®」によるアップサイクルプロ
ジェクト／日本紙通商㈱
- ⑧アルミ付き紙容器を段ボールに再生ー日本テトラパックと王子ホールディングスによる国
内初のリサイクルシステム構築ー／日本テトラパック㈱ 大森 悠子 氏

■2024年10月号 特集：シン・プラスチック包装

- ①食品包材の機能性向上と環境対応を目的とした二軸延伸 PBT フィルムの活用／
興人フィルム&ケミカルズ㈱ 小林 大悟 氏
- ②ガスバリア樹脂 EVOH 包材の食品ロス削減、環境対応への寄与／
三菱ケミカル㈱ 町田 綾野 氏
- ③輸送時におけるパーツプロテクションシステム(保護包装)としてのタイベック®の可能性／
旭・デュポン フラッシュスパン プロダクツ㈱ 横山 修平 氏
- ④ワンウェイ食品容器に「バイオマスプラスチック」の選択肢を／
リスパック㈱ 富田 裕子 氏
- ⑤生分解性 PLA 不織布「ECORISE™」について／
エム・エーライフマテリアルズ㈱ 日下部 純一 氏
- ⑥積水化成品の発泡スチロールリサイクルの取り組み／積水化成品工業㈱ 浅田 英志 氏
- ⑦再生プラスチック原料「Repla®」開発と「Repla®」を活用したレジ袋・ゴミ袋の開発・
発売／㈱esa 後藤 純一 氏
- ⑧包装業界を取り巻く法規について／アールエム東セロ㈱ 成田 淳一 氏

■2024年11月号 特集：日用品・医薬品包装の挑戦!!

- ①Eco ペコボトルの開発／花王㈱ 川上 タケル 氏
- ②極小の一滴を実現した目薬「ロートリセグロウ」の新容器開発について／
ロート製薬㈱ 濱田 崇史 氏
- ③シンカトリの開発／大日本除虫菊㈱ 船山 将太 氏
- ④ヘアケアマスクとオイルを1包で混合 JOY CLEAR の開発「いち髪 THE PREMIUM W
ケアブースター美容オイルマスク」／㈱カナエ 神野 達哉 氏
- ⑤HABA 香りさわやかアロマソープセット 化粧箱・包装へのこだわり
㈱ハーバー研究所 吾妻 泰葉 氏

⑥入浴用ボタニカル「蘇湯 SOYU」共同開発プロジェクトの取り組み／

資生堂クリエイティブ㈱ 川合 加奈子 氏

⑦日用品使用済みボトル回収実証実験の成果としての提言書／

ライオン㈱ 吉田 保徳 氏、中川 敦仁 氏

⑧わかりやすく飲みやすい薬のパッケージデザイン～使いやすい液剤医薬品容器の検討～

／横浜薬科大学 村田 実希郎 氏

■2024年12月号 特集：世代を意識したパッケージ

①若い世代にとどける日本酒「別鶴」／白鶴酒造㈱ 梶原 大輔 氏

②AR×パッケージで提供する価値と体験／クラウドサーカス㈱ 田村 勇樹 氏

③乳児から高齢者まで幅広い世代に向けた商品展開／㈱明治 大平 祐歌 氏

④軟らか次世代錠剤包装「ESOP」－トレーサビリティ確保，残薬低減，誤飲事故防止－／

㈱モリモト医薬 盛本 修司 氏

⑤健康を意識する世代へのパッケージ 乳酸菌入り小容量飲料のデザイン開発／

アサヒ飲料㈱ 山本 進太郎 氏

⑥ロッテミニチュア部／㈱ロッテ 小垣 美津子 氏

⑦サステナブルな筆記具／三菱鉛筆㈱ 竹本 勉 氏

■2025年1月号 特集：進化するロングセラー商品のパッケージ

①『6P チーズ』包装の今昔／雪印メグミルク㈱ 須田 崇 氏

②国民的炭酸飲料「三ツ矢サイダー」の歴史／アサヒ飲料㈱ 山上 尚記 氏

③ライオンにおけるプラスチック容器の環境対応の変遷／ライオン㈱ 大石 勇 氏

④エバラ食品 焼肉のたれの歴史／エバラ食品工業㈱ 佐々木 知宏 様

⑤サラダ油容器 100 年の歴史／日清オイリオグループ㈱ 平野 尚美 様

◆年頭所感◆

(公社)日本包装技術協会 大塚 一男 会長

◆新春随筆◆

京セラドキュメントソリューションズ㈱ 安藤 博教 氏、いすゞロジスティクス㈱ 井桁 一也 氏、
日硝実業㈱ 生駒 誠司 氏、アサヒ紙工㈱ 石川 浩雄 氏、石塚硝子㈱ 石塚 久継 氏、
㈱日清製粉ウェルナ 岩橋 恭彦 氏、㈱ディスペンパックジャパン 江口 陽三 氏、
発泡スチロール協会 大久保 知彦 氏、㈱日本デキシー 大越 俊幸 氏、
マルチパック・ジャパン㈱ 大沼 謙一郎 氏、リスパック㈱ 大松 栄太 氏、OPI㈱ 加藤 康伸 氏、
カネパッケージ㈱ 金坂 良一 氏、大倉工業㈱ 神田 進 氏、
全国十八リットル缶工業組合連合会 熊耳 伸一 氏、㈱クレステック 栗沢 威臣 氏、
高久産業㈱ 腰高 正久 氏、東洋モートン㈱ 小林 雄一 氏、ニッカ電測㈱ 齋藤 竜太郎 氏、
㈱クラウン・パッケージ 佐光 恵蔵 氏、カウパック㈱ 柴田 博幸 氏、味の素AGF㈱ 島本 憲仁 氏、
富山スガキ㈱ 須垣 貴雄 氏、もりや産業㈱ 菅野 晃 氏、本州製罐㈱ 鈴木 博司 氏、
福田金属箔粉工業㈱ 園田 修三 氏、TSK㈱ 高木 亮太 氏、日本セロンパック㈱ 田中 要 氏、
(公社)日本ロジスティクスシステム協会 寺田 大泉 氏、トタニ技研工業㈱ 戸谷 隆一 氏、
㈱OKIプロサーブ 八反田徹 氏、㈱New IWASHO 氷上 好孝 氏、軟包装衛生協議会 逸見るみ子氏、
東京インキ㈱ 堀川 聡 氏、ホリアキ㈱ 堀 隆 氏、恵那ダンボール㈱ 町野 正博 氏、
大阪シーリング印刷㈱ 松口 正 氏、日本製袋㈱ 森田 登 氏、エバラ食品工業㈱ 森村 剛士 氏、
㈱ユーキ 結城 真衣 氏、共和紙業㈱ 吉村 成俊 氏、日本包装機械㈱ 綿貫 昭雄 氏

◆新春企画◆いま注目している ミライをつくる包装と循環の技術

熊本大学大学院 岩崎 竜之 氏、東京大学大学院 岩田 忠久 氏、早稲田大学 加茂 徹 氏、
三菱ガス化学㈱ 小林 菜穂子 氏、㈱久原本家グループ本社 菅原 宏智 氏、
東洋食品工業短期大学 宮尾 宗央 氏、㈱パッケージング・ストラテジー・ジャパン 森 泰正 氏、
福岡大学 八尾 滋 氏、キューピー㈱ 和手 憲幸 氏

■2025 年 2 月号 特集：2024 日本パッケージングコンテスト JAPAN STAR 受賞作品

- ①紙化包装の用途開発 紙エール デザインウインドウ／日本紙パルプ商事(株) 猪鼻 悠也 氏
- ②国内 PCR-PE 材を活用した衣類用柔軟剤容器の開発／ライオン(株) 江口 晴登 氏
- ③省材料・省工数で高緩衝力を実現した汎用ソフトタッチ段ボール緩衝材／TOTO(株) 伊藤 勇樹 氏
- ④irogami ひとひらのおろし金／kuriyama kaoru design 栗山 薫 氏
- ⑤オリジナルブレンドマテリアルを用いた「ポータブルシアターシステム『HT-AX7』」パッケージの開発／ソニーグループ(株) 廣瀬 賢一 氏
- ⑥パラミル® (パルプモールドラミネーション)／大石産業(株) 木下 悠 氏
- ⑦モルト粉入りパルプモールド製ボックスを使用した「ファンケル スキンケア セット」／キリンホールディングス(株) 山崎 勝弘 氏、平石 和弘 氏、
(株)ファンケル 三澤 敬之 氏、蒲地 真喜子氏

■2025 年 3 月号 特集：第 48 回木下賞受賞論文

- ①「おかえりつめかえパック」の開発ー使用済みつめかえパックの水平リサイクル技術の具現化ー／花王(株) 福井 俊介 氏
- ②超軽量アルミ飲料缶ー缶底から環境貢献ー／東洋製罐(株) 村瀬 健 氏
- ③サーキュラーエコノミーを実現するガラスびんの研究開発ーMomiGlassー
／日本山村硝子(株) 山本 柱 氏、堀 詩織 氏

2) 「包装技術便覧/2019 年 2 月発刊」、「包装用語早わかり(包装用語辞典)/2022 年 10 月発刊」、
「包装...知っとく知識 改訂 2 版/2024 年 10 月 7 日発刊」の販売

3) 月刊機関誌「包装技術」の電子データアーカイブ化着手

4) 「Q & A 容器包装規制基準の手引き」誌の編纂

第 2. 諸 会 議

1) 理事会	5 月 20 日 (月)	如水会館、オンライン併催
	6 月 14 日 (金)	如水会館
	11 月 26 日 (火)	如水会館、オンライン併催
	3 月 7 日 (金)	如水会館、オンライン併催
2) 常務理事会	10 月 16 日 (水)	オンライン開催
	2 月 13 日 (木)	オンライン開催
3) 全国支部連絡会	5 月 22 日 (水)	オンライン開催
	11 月 20 日 (水)	富山国際会議場

- 4) 本部・支部諸会議 本支部単位で運営委員会・講習会委員会等を逐次開催
- ①東京本部 (研修教育) 包装専士講座研修委員会、包装管理士講座研修委員会、WEB フォーラム委員会、包装懇話会幹事会、各種セミナー企画委員会、他
(展 示 会) 東京国際包装展実行委員会
(調査研究) ISO/TC122 委員会、JIS 委員会、包装統計委員会、他
(出 版) 月刊機関誌『包装技術』編集委員会
- ②関西支部 支部役員会 5 月 30 日 (木)、運営委員会 8 月 28 日 (水)・3 月 7 日 (金)
生活者包装研究懇談会実行委員会 6 月 21 日 (金)・2 月 28 日 (金)
- ③中部支部 役員会 5 月 29 日 (水)、運営委員会 9 月 20 日 (金)・3 月 7 日 (金)
研究例会テーマ検討作業部会 12 月 20 日 (金)
- ④西日本支部 運営委員会 10 月 2 日 (水)
- ⑤北海道支部 運営委員会 5 月 20 日 (月)・10 月 28 日 (月)
- ⑥東北支部 運営委員会 5 月 27 日 (月)・8 月 22 日 (木)・3 月 13 日 (木)

第 3. 行事・その他の活動

1) 行事

(1) 第 13 回定時総会	6 月 14 日 (金)	如水会館
(2) 新年会		
東京本部 2025 年包装界合同新年会	1 月 8 日 (水)	東京會館
関西支部 2025 年新春会員交流会／講演会	1 月 24 日 (金)	大阪俱樂部
中部支部 2025 年新年賀詞交歓会	1 月 16 日 (木)	名古屋マリオットアソシアホテル
北海道支部 2025 年新春賀詞交歓会／新春研究会	1 月 22 日 (水)	ニューオータニイン札幌
東北支部 2025 年新年名刺交換会／新春講演会	1 月 22 日 (水)	江陽グランドホテル

2) 会員交流会・支部特別講演会

①東京本部 総会会員交流懇親会	6 月 14 日 (金)	如水会館
包装管理士合格証書授与式・交流会	10 月 18 日 (金)	A P 日本橋
②関西支部 支部会員総会／交流懇親会	5 月 30 日 (木)	ホテル日航大阪
包装管理士合格証書授与式・交流会	10 月 29 日 (火)	ハートンホテル北梅田
③中部支部 支部会員総会／交流懇親会	6 月 25 日 (火)	メルパルク名古屋
包装管理士合格証書授与式・交流会	11 月 8 日 (金)	サイプレスホテル名古屋駅前
④西日本支部 定時総会報告会	10 月 2 日 (水)	西鉄イン福岡ホテル
包装管理士合格証書授与式・交流会	10 月 30 日 (水)	西鉄イン福岡ホテル
⑤北海道支部 支部会員総会	7 月 4 日 (木)	ニューオータニイン札幌
包装管理士合格証書授与式・交流会	11 月 13 日 (水)	ニューオータニイン札幌
I P P 合同親睦会		開催中止
⑥東北支部 包装管理士合格証書授与式・交流会	11 月 8 日 (金)	江陽グランドホテル

3) その他の活動

- (1) Web サイトによる最新情報の提供 ホームページ定期更新 12 回、逐次情報発信
- (2) Eメールによる協会活動内容の国内配信 メールマガジン年間 12 回 他、臨時配信
- (3) J P I 関連団体との連絡提携
日本包装専士会、日本包装管理士会、日本包装コンサルタント協会、
技術士包装物流会、日本包装学会、日本MH協会 他
- (4) 行政機関要請への協力と連携、研究機関、消費者団体、市民団体等との連携
経済産業省、厚生労働省、環境省、農林水産省、国土交通省、中小企業庁、消費者庁、
東京都、福岡県循環推進課、(地独)大阪産業技術研究所、兵庫県工業技術センター、
あいち産業科学技術総合センター、その他要請内容について随時判断

第4. 組 織

会員動勢（2024年4月1日～2025年3月31日）は、次の通りである。

1. 法人会員

2024年度期首	2024年度		
984 社	入 会 数 36 社	退 会 数 41 社	年度末現在 979 社

2. 個人会員

2024年度期首	2024年度		
136 名	入 会 数 18 名	退 会 数 30 名	年度末現在 124 名

<会 員 登 録 動 勢 一 覧>

	2024年 4月1日		本 年 度		2024年度 合 計
			入会	退会	
会 員 総 数	1120		54	71	1103
法 人	984 社		36 社	41 社	979 社
（口数）	(1010)		(36)	(41)	(1005)
個 人	136 名		18 名	30 名	124 名
登 録 員 数	法人	984 社	36 社	41 社	979 社
		2596 名	80 名	95 名	2581 名
	個人	136 名	18 名	30 名	124 名
	合計	2732 名	98 名	125 名	2705 名
本部（東京）	法人	1502 名	56 名	35 名	1523 名
	個人	68 名	10 名	15 名	63 名
関 西 支 部	法人	565 名	13 名	39 名	539 名
	個人	32 名	6 名	8 名	30 名
中 部 支 部	法人	346 名	8 名	10 名	344 名
	個人	19 名	1 名	2 名	18 名
西日本 支部	法人	94 名	2 名	6 名	90 名
	個人	6 名	1 名	3 名	4 名
北海道 支部	法人	45 名	0 名	2 名	43 名
	個人	1 名	0 名	0 名	1 名
東 北 支 部	法人	44 名	1 名	3 名	42 名
	個人	10 名	0 名	2 名	8 名

支 部

(北海道支部・東北支部・中部支部・関西支部・西日本支部)

2024年4月1日～2025年3月31日

◎北海道支部

第1. 事業

1. 研修、育成、交流事業、普及啓発

<研修、育成事業> (公益目的事業 1)

1) 包装管理士講座

(1) 第59期包装管理士講座(札幌募集枠)

受講 11 名／合格 11 名(生活者 4 名・輸送 7 名)

1. 集合研修(オリエンテーション・グループミーティング) ロワジールホテル豊橋

・輸送包装コース 6月 5日(水)

・生活者包装コース 6月 6日(木)

2. オンライン講義

①統括教科 6月12日(水)

②材料教科 6月18日(火)～6月20日(木)

③専門教科

・輸送包装コース 7月 2日(火)～7月 5日(金)

・生活者包装コース 7月 9日(火)～7月12日(金)

3. オンライン試験

包装管理士試験(輸送包装コース／生活者包装コース) 8月26日(月)

4. 合宿研修(ケーススタディ・面接試験) ロワジールホテル豊橋

ケーススタディ・面接試験

・生活者包装コース 9月 4日(水)～9月 6日(金)

・輸送包装コース 9月 9日(月)～9月11日(水)

2) 研究会・講演会

(1) 北海道支部総会特別講演

7月 4日(木) ニューオータニイン札幌 参加者 36 名

テーマ:「持続可能な物流の実現に向けて～2024年問題と今後の課題・対応～」

講 師:流通経済大学 流通情報学部 教授 (株)NX総合研究所 顧問)大島 弘明 氏

(2) 包装懇話会(日本包装管理士会北海道支部と共催)

11月13日(水) ニューオータニイン札幌 参加者 37 名

テーマ:「このくらい違う展示・販売方法!

包装視察団に参加してドイツ・スペイン・タイを比較」

講 師:公益社団法人日本包装技術協会 包装技術研所 輸送 包装研究室室長 金子 武弘

(3) 新春研究会（日本包装管理士会北海道支部と共催）

1月22日（水） ニューオータニイン札幌 参加者 30名
 テーマ：「三井化学が進めるバイオマス化・ケミカルリサイクルの取り組み」
 講師：三井化学株式会社 グリーンケミカル事業推進室
 ビジネスディベロップメントグループ 油井 賢司 氏

＜交流事業＞ （公益目的事業 1）

- 1) 企業見学研究会（北海道生産性本部と共催） 10月18日（金） 参加者 19名
 ①日本製鋼所M&E(株)室蘭製作所（室蘭市）
 ②登別市グリーンスローモビリティによる温泉街の活性化プロジェクトの視察（登別市）

第2．諸会議

- 1) 第1回支部運営委員会 5月20日（月） 北海道経済センター 出席者 8名
 2) 第2回支部運営委員会 10月28日（月） 北海道経済センター 出席者 9名

第3．行事・その他の活動

- 1) 北海道支部総会 7月4日(木) ニューオータニイン札幌 参加者 21名
 2) 第59期合格証書授与式・レポート発表会 参加者 34名
 ・交流会 参加者 25名
 11月13日（水） ニューオータニイン札幌
 3) J P I 北海道支部・I P P 北海道支部合同親睦会 開催中止
 4) 2025年賀詞交歓会（日本包装管理士会北海道支部と共催）
 1月22日（水） ニューオータニイン札幌 参加者 29名

◎東北支部

第1. 事業

1. 研修、育成、交流事業、普及啓発

<研修、育成事業> (公益目的事業 1)

1) 包装管理士講座

(1) 第59期包装管理士講座(仙台募集枠) 受講12名/合格10名 (生活者3名・輸送7名)

1. 集合研修(オリエンテーション・グループミーティング) ロワジールホテル豊橋

・輸送包装コース 6月5日(水)

・生活者包装コース 6月6日(木)

2. オンライン講義

①統括教科 6月12日(水)

②材料教科 6月18日(火)～6月20日(木)

③専門教科

・輸送包装コース 7月2日(火)～7月5日(金)

・生活者包装コース 7月9日(火)～7月12日(金)

3. オンライン試験

包装管理士試験(輸送包装コース/生活者包装コース) 8月26日(月)

4. 合宿研修(ケーススタディ・面接試験) ロワジールホテル豊橋

ケーススタディ・面接試験

・生活者包装コース 9月4日(水)～9月6日(金)

・輸送包装コース 9月9日(月)～9月11日(水)

2) 研究会・講演会

(1) JPI WEB フォーラム(東北支部・西日本支部共催)

1. 12月5日(木)

参加者 176名

「日本パッケージングコンテスト入賞作品事例発表会」(西日本支部・東北支部共催)

①こんなトレーを待っていた! A式ベースの「サッとスタックトレー」

株式会社トーモク 開発営業第一部 野尻 佳佑 氏

②省材料・省工数で高緩衝力を実現した汎用ソフトタッチ段ボール緩衝材

TOTO 株式会社 ウォシュレット開発第三部 包装・印刷物 G 伊藤 勇樹 氏

③ノンスリップ・エコボックス

TOTO 株式会社 衛陶設計部 衛陶生産設計 第二G 中島 みのり 氏

④2024年問題を解決した輸送包装容器の改善事例

適正包装が生み出した製品不良ゼロと包装廃棄物ゼロ

株式会社東北ウエノ 営業技術部 田原 祐樹 氏

⑤1t積載できて、リサイクルしやすい、ハイブリッドパレット! / 支柱脱着式段積み輸

送用デッキ/小型電子顕微鏡のスロープ付き梱包箱

ロジスティード株式会社 ロジスティクステクノロジー部 金井 俊介 氏

2. 12月16日（月）

参加者 51 名

「3GeV 高輝度放射光施設『Nanoerasu（ナノテラス）』とは」

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構

NanoTerasu センター 高輝度放射光研究開発部長 加道 雅孝 氏

（2）2024 年度包装技術研究発表大会（第 59 期包装管理士講座合格証書授与式併催）

11 月 8 日（金）13:30～15:20 江陽グランドホテル 孔雀の間 参加者 29 名

①「プラスチック素材からリサイクル素材に改善した養生資材」

NX 商事(株) 仙台支店 物流商品・機器部 盛岡営業センター 課長 村田 孝 氏

②「冷凍チルド流通向けトレーパック容器における紙製フタ材の開発」

TOPPAN(株) 東日本事業本部 東日本企画本部 SX 事業開発部

SX 開発・販促チーム 松田 大樹 氏

③「発泡スチロールに替わる保冷段ボールの検討」

レンゴー(株) パッケージング部門 東北事業部 新仙台工場 営業部 営業課

鈴木 憲輔 氏

④「段ボール保管箱による倉庫容積効率の改善・仕様の共通化」

(株)タカムラ産業 営業 1 課 営業 荒牧 大地 氏

（3）2025 年度新春特別講演会 ＊2025 年東北包装界新年名刺交換会にて開催

1 月 22 日（水）15:00～16:00 江陽グランドホテル白鳥の間 参加者 34 名

『コロナで失われた「相手を知り、語り合うこと」の必要性

～競争から共創、2025 を新たな時代の幕開けへ～』

Next IWATE 代表 / 一関高専専攻科 2 年生 上野 裕太郎 氏

（4）包装研究講演会（実開催講習会）

「2024 年度 JPI 東北支部包装研究講演会」（現地対面）

3 月 13 日（木）15:00～16:00 江陽グランドホテル 参加者 20 名

「仙台市における製品プラスチック一括回収・リサイクルの取組みについて」

仙台市環境局次長兼資源循環部長 沼田 和之 氏

＜交流事業＞ （公益目的事業 1）

1）見学会（工場・施設）

1 月 30 日（木）

参加者 10 名

「3GeV 高輝度放射光施設『Nanoerasu（ナノテラス）』」

第 2. 諸会議

1）東北支部運営委員会

第 1 回 5 月 27 日（月） 会場：仙台第一生命タワービル会議室

議 題 （1）2024 年度 JPI 東北支部事業計画について

（2）包装技研究発表会(第 59 期包装管理士講座合格証書授与式)について

第2回 8月22日(木) 【オンライン会議】

- 議 題 (1) JPIWEB フォーラム(東北支部担当)のテーマ・講師案について
(2) 次年度新年会、全日本包装技術研究大会(仙台大会)の講演者について
(3) 施設(工場)見学会について
(4) 若手人材の参加促進について

第3回 3月13日(木) 会場: 江陽グランドホテル

- 議 題 (1) 2024年度事業報告
(2) 2025年度事業計画案について

2) 全国支部連絡会

第121回: 5月22日(水) オンライン

第122回: 11月20日(水) 富山国際会議場

第3. 行事・その他の活動

1) 第59期包装管理士講座合格証書授与式・新包装管理士を囲む会

11月8日(金) 江陽グランドホテル 孔雀の間

2) 2025年東北包装界新年名刺交換会

1月22日(水) 江陽グランドホテル 白鳥の間・鴛鴦の間 参加者 34名

第一部 新春特別講演会(15:00~16:00 白鳥の間)

『コロナで失われた「相手を知り、語り合うこと」の必要性
~競争から共創、2025を新たな時代の幕開けへ~』

Next IWATE 代表 / 一関高専専攻科2年生 上野 裕太郎 氏

第二部 名刺交換会(16:00~17:00 鴛鴦の間)

◎中部支部

第1. 事業

1. 研修、育成、交流事業、普及啓発

<研修、育成事業> (公益目的事業 1)

1) 包装管理士講座

(1) 第59期包装管理士講座 (名古屋募集枠)

受講 55 名 / 合格 54 名 (生活者 19 名・輸送 35 名)

1. 集合研修 (オリエンテーション・グループミーティング) ロワジールホテル豊橋

・輸送包装コース 6月 5日 (水)

・生活者包装コース 6月 6日 (木)

2. オンライン講義

①統括教科 6月12日 (水)

②材料教科 6月18日 (火) ～6月20日 (木)

③専門教科

・輸送包装コース 7月 2日 (火) ～7月 5日 (金)

・生活者包装コース 7月 9日 (火) ～7月12日 (金)

3. オンライン試験

包装管理士試験 (輸送包装コース / 生活者包装コース) 8月26日 (月)

4. 合宿研修 (ケーススタディ・面接試験) ロワジールホテル豊橋

ケーススタディ・面接試験

・生活者包装コース 9月 4日 (水) ～9月 6日 (金)

・輸送包装コース 9月 9日 (月) ～9月11日 (水)

2) 研究会・講演会

〔研究会〕

(1) JPI WEB フォーラム (中部支部主催)

①11月 6日 (水) 参加者 156 名

テーマ:『プラスチックゴミ ゼロへの挑戦 (ゼロ・エミッション)』

講師: グンゼ株式会社 グローバル営業部 営業企画課 課長 前原 志保 氏

②12月 4日 (水) 参加者 92 名

テーマ:『被災者の命を守る段ボールベッドのその後～能登半島地震の対応について～』

講師: J パックス株式会社 代表取締役社長 水谷 嘉浩 氏

③1月 28日 (火) 参加者 71 名

テーマ:『プチプチ®を活用した災害支援』

講師: 川上産業株式会社 事業管理部 事業管理課長 小森 智 氏

(2) 包装技術講習会

参加者 95 名

～パルプモールドの基礎と展開事例および、EU 包装・包装廃棄物規則(PPWR)の概要と将来像～

3 月 12 日 (水) 対面 (会場：ウイंकあいち) 聴講＋ウェビナー聴講 (Zoom)

内容①：『パルプモールド成形の工程と特性および環境への対応と展開事例について』

講 師：日本モールド工業株式会社 営業開発課 課長 清水 幸浩 氏

内容②：『EU 包装・包装廃棄物規則 (PPWR) の概要と将来像』

講 師：公益社団法人日本包装技術協会 包装技術研究所 井出 安彦 氏

コーディネーター：あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター

環境材料室長 森川 豊 氏

〔講演会〕

(3) 第 6 1 回中部支部会員総会記念講演会

参加者 52 名

6 月 25 日 (火) ホテルメルパルク名古屋 3 階「シリウス」

テーマ：『企業における防災と災害支援の在り方』

講 師：認定特定非営利活動法人 愛知ネット 理事 鈴木 盈宏 氏

(4) 2024 日本パッケージングコンテスト入賞作品発表会

参加者 52 名

12 月 12 日 (木) 対面 (会場：ウイंकあいち) 聴講＋ウェビナー聴講 (Zoom)

内容①：『バイカルテ 業務共通ホルダー』

講 師：ホーユー株式会社 総合研究所 製品開発第 2 研究室

製品開発 P4 課 末田 朋与 氏

内容②：『剪定木のアップサイクルによるパルプモールド製トイカプセル』

講 師：ダイナパック株式会社 開発本部 中部 C S C 松原 弘幸 氏

内容③：『次世代容器包装「eco フレンドリー」プロジェクトと『パパっとパピエコ BOX』の開発』

講 師：サッポロビール株式会社 技術開発部 (包装専士) 横石 智彦 氏

内容④：『設計理論と落下解析を活用したパルプモールド緩衝材と製品への展開』

講 師：ブラザー工業株式会社 LE 開発部 名坂 成昭 氏

進行兼コメンテーター：あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター

環境材料室 主任研究員 村松 圭介 氏

(5) 第 6 4 回包装技術研究大会中部大会

参加者 54 名

～各種包装材の製品開発および改善事例の紹介と海外での包装展示会と市場調査について～

2 月 19 日 (水) 対面 (会場：ウイंकあいち) 聴講＋ウェビナー聴講 (Zoom)

内容①：『新たな固定方法で資材削減に挑戦！

「カーエアコンコンプレッサー用の軽量で汎用性の高い内材」の開発』

講 師：株式会社デンソーロジテム 物流サービス本部 包装管理室 直納包装課

古藤 宏則 氏

内容②：『食パン用フィルムの製袋品カール低減』

講 師：フタムラ化学株式会社 フィルム営業本部 フィルム営業部 名古屋グループ 渡邊 隼人 氏

内容③：『アメリカ市場における樹脂窓完成品の包装改善』

講 師：株式会社 YKK AP 生産技術部 住宅技術グループ 窓生産技術室 鶴間 剛士 氏

内容④：『納豆 PSP トレーの蓋の開けやすさの改善』

講 師：株式会社 Mizkan 品質環境部品質保証課 篠田 太郎 氏

内容⑤：『トナーカートリッジ外装箱の工程削減提案』

講 師：ダイナパック株式会社 みよし事業所 営業部 営業第一課 河合 宏哉 氏

内容⑥：【特別講演】『ドイツ・スペイン・タイの包装展示会と市場の比較』

講 師：公益社団法人日本包装技術協会 包装技術研究所 金子 武弘 氏

3) セミナー・コース

(1) 2024年度包装設計の基礎講座

参加者 33 名

5月16日(木)・17日(金) 愛知県技術開発交流センター 交流会議室・研修室

【講義内容】

第1日目

「包装の役割と包装設計の考え方」

- ・包装の社会的役割 ・適性包装に向けて包装設計の考え方

三菱電機ロジスティクス株式会社 物流技術部 主管(包装管理士) 星野 弘行 氏

「段ボール箱の基礎と応用」

- ・段ボールの構造と原紙種類 ・段ボール箱の規格と製造工程 ・箱の圧縮強さの評価

ダイナパック株式会社 開発本部中部 CSC 部長(包装管理士) 早川 貴司 氏

「段ボール箱の設計」

- ・段ボール箱の設計手順 ・段ボール箱の設計要因と劣化要因 ・箱圧縮強さの算出法

ダイナパック株式会社 開発本部中部 CSC 部長(包装管理士) 早川 貴司 氏

「段ボール箱の製作」

- ・段ボール箱の製作

ダイナパック株式会社 開発本部中部 CSC 部長(包装管理士) 早川 貴司 氏

「機能性プラスチック包装材料」

- ・機能性プラスチック包装材料の種類と使用の実例・包装材料を取り巻く世界の法規制

株式会社アイセロ 商品開発本部 開発2部 次長 溝端 一幸 氏

第2日目

「緩衝包装設計」

- ・緩衝包装の目的 ・緩衝材の種類 ・緩衝性能と緩衝設計技法

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 環境材料室 主任研究員 飯田 恭平 氏

「包装試験の目的と試験法」

- ・包装試験、包装材料試験の目的と試験法および評価法

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 環境材料室 主任 村松 圭介 氏

「包装試験施設の見学」

- ・包装試験関連施設(衝撃・落下・振動試験、包装材料試験、箱圧縮試験など)の見学

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター環境材料室 主任研究員 林 直宏 氏 他

「トータルコスト削減に向けた集合包装」

- ・トータルコスト削減に向けた集合包装

三菱電機株式会社 住環境研究開発センター

設計・品質技術開発部設計技術開発グループ 新井 達也 氏

「包装改善とロジスティクス」

- ・ロジスティクスの中での包装の役割 ・輸送形態の特性とそれに適応した包装改善

株式会社デンソーロジテム 物流サービス本部 包装管理室

室長（包装管理士） 佐藤 嘉和 氏

(2) 第15回食品包装コース

参加者 30 名

全4日間 ウェビナー聴講 (Zoom)

【第1回】2月5日(水) 「食品包装の役割」

【第2回】2月12日(水) 「食品包装用の包装材料」

【第3回】2月20日(木) 「食品の変質防止と包装」

【第4回】2月27日(木) 「食品包装の安全性、環境問題と今後」

講師：加藤包装技術事務所 所長 加藤 武男 氏

トッパン・ヒューマン・インフォメーション・サービス株式会社 坂巻 千尋 氏

(3) 第41回フレキシブルパッケージコース

参加者 44 名

2月14日(金) 10:00~17:00 JPI 本部 A 会議室

◇プログラム

1. フレキシブルパッケージ（軟包装）とは
2. フレキシブルパッケージ用原材料について
3. フレキシブルパッケージの衛生性
4. フレキシブルパッケージの製造
5. フレキシブルパッケージの設計
6. フレキシブルパッケージを取り巻く話題

講師：下山田包装技術事務所 所長 下山田 正博 氏

<交流事業> (公益目的事業 1)

見学会 ※本年度は見学先調整つかず見送り

第2. 諸会議

1) 第61回中部支部役員会 5月29日(水) 名古屋マリオットアソシアホテル

2) 第61回中部支部会員総会 6月25日(火) メルパルク名古屋

3) 中部支部運営委員会

第1回：9月20日(金) 名鉄グランドホテル

第2回：3月7日(金) 名鉄グランドホテル

4) 2025年度研究例会等講演テーマ検討作業部会 12月20日(金)→3月7日(金)に変更

5) 全国支部連絡会

第121回: 5月22日(水) Zoom ミーティング

第122回: 11月20日(水) 富山国際会議場

第3. 行事・その他の活動

1) 第61回 会員総会 会員交流会

参加者 52名

6月25日(火) メルパルク名古屋 3階「若葉」

2) 第59期包装管理士合格証書授与式・交流会

参加者 44名

11月8日(金) サイプレスホテル名古屋駅前

合格証書授与式 2階「扇の間」／交流懇親会 2階「葵の間」

3) 2025年中部包装界新年賀詞交歓会

参加者 96名

1月16日(木) 名古屋マリオットアソシアホテル

◎関西支部

第1. 事業

1. 研修、育成、交流事業、普及啓発

<研修、育成事業> (公益目的事業 1)

1) 包装管理士講座

(1) 第59期包装管理士講座(大阪募集枠)

受講 74 名／合格 68 名(生活者 53 名・輸送 15 名)

1. 集合研修(オリエンテーション・グループミーティング) ロワジールホテル豊橋

・輸送包装コース 6月 5日(水)

・生活者包装コース 6月 6日(木)

2. オンライン講義

①統括教科 6月12日(水)

②材料教科 6月18日(火)～6月20日(木)

③専門教科

・輸送包装コース 7月 2日(火)～7月 5日(金)

・生活者包装コース 7月 9日(火)～7月12日(金)

3. オンライン試験

包装管理士試験(輸送包装コース／生活者包装コース) 8月26日(月)

4. 合宿研修(ケーススタディ・面接試験) ロワジールホテル豊橋

ケーススタディ・面接試験

・生活者包装コース 9月 4日(水)～9月 6日(金)

・輸送包装コース 9月 9日(月)～9月11日(水)

2) 研究会・講演会

(1) JPI WEB フォーラム(関西支部主催)

①7月 31日(水) 参加者 308 名

「包装関係者と消費者に聞きました！～資源回収と容器包装に関する意識調査～」

日報ビジネス株式会社 包装編集部係長 吉野 加代子 氏

②8月 21日(水) 参加者 228 名

「物流 2024 年問題と包装」

日本トールカンパパッケージ株式会社 紙器事業本部紙器営業部 岸本 浩二 氏

コーディネータ：下前委員(ダイキン工業株式会社)

③9月 26日(木) 参加者 218 名

「紙製緩衝材への取り組み～開発の変遷と事例紹介～」

京セラドキュメントソリューションズ株式会社

技術本部 P S 1 統括技術部第 1 4 技術部 MD 5 4 課 板野 篤 氏

コーディネータ：池田委員(京セラドキュメントソリューションズ株式会社)

④10月8日（火）

参加者 152 名

「JALの客室・ラウンジサービスにおける新規石油由来の使い捨てプラスチック全廃に向けた取り組み」

日本航空株式会社 カスタマー・エクスペリエンス本部

商品・サービス開発部 客室サービスグループ マネジャー 岡澤 賢哉 氏
コーディネータ：辻本委員(大日本印刷株式会社)

⑤11月12日（火）

参加者 175 名

「買いに繋げるパッケージデザインの“伝える”チカラ」

株式会社サンデザインアソシエーツ 代表取締役社長

松尾 政明 氏

コーディネータ：大塚副委員長(パナソニックホールディングス株式会社)

⑥12月18日（水）

参加者 261 名

「パッケージを取り巻く世界動向～欧米の最新規制状況～」

株式会社パッケージング・ストラテジー・ジャパン 取締役社長

森 泰正 氏

コーディネータ：吉田委員(サンスター株式会社)

⑦2月14日（金）

参加者 124 名

「“伝わるデザイン” 認証を取得した“炊き込み御膳” の新パッケージ」

江崎グリコ株式会社 デザイン部部長

佐藤 敏明 氏

コーディネータ：宮川委員(江崎グリコ株式会社)

⑧3月7日（金）

参加者 223 名

「デジタル印刷技術とパッケージビジネスの革新」

株式会社日本HP デジタルプレス事業本部インダストリアルセールス本部

ラベル・パッケージ営業部部長

永島 孝也 氏

事業戦略部 ビジネス開発シニアスペシャリスト

仲田 周平 氏

コーディネータ：杉田委員長(レンゴー株式会社)

(2) 生活者包装研究懇談会

メンバー35 名

①10月30日（水） ハートンホテル北梅田

「プラスチック包装容器における花王の環境配慮への取り組み」

花王株式会社 包装技術研究所 第6研究室チームリーダー

福井 俊介 氏

(コーディネータ) サンスター株式会社

徳岡 誠司 氏

「医薬品包装の表示に起因する回収事例と、誤表示および誤記載対策」

P P C 医薬品包装コンサルタント

石原 健 氏

(コーディネータ) 大塚製薬株式会社

藤井 洋己 氏

◇交流会

②11月28日（木） 見学会

株式会社カナエ 包装技術開発センター
六甲バター株式会社 神戸工場

③1月28日（火） ハートンホテル北梅田

「環境配慮商品スポット eco ボトルのコンセプト」

「レンジ袋（EMCバッグ）の新機能」

キョーラク株式会社 パッケージング事業部容器開発部部长

池口 尚宏 氏

パッケージング事業部化成品開発部部长

片山 亮 氏

（コーディネータ）TOPPAN株式会社

吉永 雅信 氏

「医療現場から見る医薬品包装～医療従事者が望む包装形態～」

東京薬科大学薬学部 臨床薬剤学教室教授

下枝 貞彦 氏

（コーディネータ）大塚製薬株式会社

藤井 洋己 氏

◇交流会

3) セミナー・コース

(1) 第31回包装基礎コース

参加者 39 名

5月15日（水）～17日（金） ハートンホテル北梅田

「包装概論」

公益社団法人日本包装技術協会 事務局次長・管理本部長

竹内 攻

「板紙・紙器」

大日本印刷株式会社 Life デザイン事業 BCC プロダクト開発本部

プロダクト開発第2部 第2グループリーダー

辻本 隆亮 氏

「段ボール」

レンゴー株式会社 開発本部包装技術第一部担当部長

杉田 裕紀 氏

「金属缶」

東洋製罐株式会社 品質保証部 茨木品質課課長

谷野 友哉 氏

「プラスチック容器」

東洋製罐株式会社 品質保証部 大阪品質課課長

西村 義明 氏

「ガラス容器」

日本山村硝子株式会社 ガラスびんカンパニー

生産本部 技術開発部 型成形チームリーダー

大西 邦和 氏

「プラスチックフィルム」

ユニチカ(株) フィルム事業部 フィルム品質保証部部长

田中 信広 氏

「生活者包装技法」

TOPPAN株式会社 生活・産業事業本部 SX 推進センター

SX パッケージ開発本部 西日本開発部 開発戦略グループ

知財戦略チーム

三宅 英信 氏

「輸送包装」

アイロップ株式会社 包装技術部 参事

吉木 宏 氏

(2) 第18回緩衝包装設計実践コース

参加者 20 名

11月1日(金) 大阪産業技術研究所 和泉センター

講義

1. 緩衝材についての基礎知識 2. 緩衝設計のための力学の基礎 3. 緩衝理論
(地独)大阪産業技術研究所 和泉センター 製品信頼性研究部生活科学・輸送包装研究室長

津田 和城 氏

講義・実習

4. 緩衝包装設計の前提条件 5. 応力-歪線図を使った緩衝設計
6. 評価試験機の見学と実演 7. 設計上の注意点と配慮点

セイコーエプソン株式会社 P 商業・産業企画設計部課長

竹下 三四郎 氏

(3) 第51回段ボール包装設計実習コース*2回開催

参加者 32 名(16 名/回)

【1回目】11月14日(木) ハートンホテル北梅田

11月15日(金) アイロップ株式会社

【2回目】12月5日(木) ハートンホテル北梅田

12月6日(金) アイロップ株式会社

講義 「段ボール原紙・箱形式・特性・包装設計・包装貨物試験・製造 等」

レンゴー株式会社 包装技術第一部 大阪包装技術第一課 担当部長代理 上原 英明 氏

実習 (午前：個人作業 午後：グループ実習)

「寸法の算出・試作実習・試作品の圧縮試験および落下試験・講評と質疑応答」

アイロップ株式会社 包装技術部参事

吉木 宏 氏

アイロップ株式会社 包装技術部部長

脇田 明和 氏

<交流事業> (公益目的事業 1)

1) 会員フォーラム見学会

参加者 23 名

稲盛ライブラリー・京セラファインセラミック館・京セラギャラリー 2月26日(水)

第2. 諸会議

1) 関西支部役員会 5月30日(木) ホテル日航大阪

出席者 19 名

1. 役員改選に関する件
2. 2023 年度事業報告ならびに会計報告に関する件
3. 2024 年度事業計画ならびに会計計画に関する件
4. その他

2) 関西支部運営委員会

出席者 14 名

①8月28日(水) TKP ガーデンシティ PREMIUM 心斎橋

1. 2024 年度上期事業報告および進捗状況に関する件
2. 2024 年度下期事業に関する件
3. その他

②3月7日（金） アットビジネスセンター心齋橋駅前

1. 2024年度下期事業報告に関する件
2. 2025年度事業計画に関する件
3. その他

3) 生活者包装研究懇談会実行委員会

①6月21日（金） イマイビル

出席者 7 名

1. 2024年度の実行委員について
2. 2024年度の募集および例会について 他

②2月28日（金） イマイビル

1. 2024年度の報告について
2. 2025年度について 他

4) 全国支部連絡会

第121回： 5月22日（水） オンライン

第122回： 11月20日（水） 富山国際会議場

第3. 行事・その他の活動

1) 支部総会および交流会 5月30日（木） ホテル日航大阪

参加者 91 名

1. 2023年度事業報告ならびに会計報告に関する件
2. 2024年度事業計画ならびに会計計画に関する件
3. 役員改選に関する件
4. その他

2) 第59期包装管理士講座（大阪会場）合格証書授与式・祝賀会

出席者 58 名

10月29日（火） ハートンホテル北梅田

3) 新春会員交流会 1月24日（金） 大阪倶楽部

参加者 92 名

◇年頭挨拶

公益社団法人日本包装技術協会 関西副支部長

南尾 匡紀

◇記念講演会「上手な最期の迎え方」

医師・作家

久坂部 羊 氏

◇交流パーティ

◎西日本支部

第1. 事業

1. 研修、育成、交流事業、普及啓発

<研修、育成事業> (公益目的事業 1)

1) 包装管理士講座

(1) 第59期包装管理士講座(西日本募集枠)

受講 29 名／合格 28 名(生活者 15 名・輸送 13 名)

1. 集合研修(オリエンテーション・グループミーティング) ロワジールホテル豊橋

・輸送包装コース 6月 5日(水)

・生活者包装コース 6月 6日(木)

2. オンライン講義

①統括教科 6月12日(水)

②材料教科 6月18日(火)～6月20日(木)

③専門教科

・輸送包装コース 7月 2日(火)～7月 5日(金)

・生活者包装コース 7月 9日(火)～7月12日(金)

3. オンライン試験

包装管理士試験(輸送包装コース／生活者包装コース) 8月26日(月)

4. 合宿研修(ケーススタディ・面接試験) ロワジールホテル豊橋

ケーススタディ・面接試験

・生活者包装コース 9月 4日(水)～9月 6日(金)

・輸送包装コース 9月 9日(月)～9月11日(水)

2) 研究会・講演会

(1) JPI WEB フォーラム(西日本支部・東北支部共催)

1. 12月5日(木) 参加者 176 名

「日本パッケージングコンテスト入賞作品事例発表会」(西日本支部・東北支部共催)

①こんなトレーを待っていた! A 式ベースの「サッとスタックトレー」

株式会社トーモク 開発営業第一部 野尻 佳佑 氏

②省材料・省工数で高緩衝力を実現した汎用ソフトタッチ段ボール緩衝材

TOTO 株式会社 ウォシュレット開発第三部 包装・印刷物 G 伊藤 勇樹 氏

③ノンスリップ・エコボックス

TOTO 株式会社 衛陶設計部 衛陶生産設計 第二G 中島 みのり 氏

④2024 年問題を解決した輸送包装容器の改善事例

適正包装が生み出した製品不良ゼロと包装廃棄物ゼロ

株式会社東北ウエノ 営業技術部 田原 祐樹 氏

⑤1t 積載できて、リサイクルしやすい、ハイブリッドパレット! / 支柱脱着式段積み輸

送用デッキ / 小型電子顕微鏡のスロープ付き梱包箱

ロジスティード株式会社 ロジスティクステクノロジー部 金井 俊介 氏

2. 2月19日（水）

参加者 149 名

「コンビニ弁当容器 平成の30年」

三菱商事パッケージング株式会社 商品本部

パッケージング・テクニカル・スペシャリスト 佐藤 久朗 氏

(2) 特別講演会

1. 2024 年度定時総会報告 特別講演会(2 講演)

10月2日（水） 西鉄イン福岡ホテル

参加者 20 名

テーマ①:「包装視察団への参加と、ドイツ・スペイン・タイのスーパーの展示・販売方法を比較」

講師: (公社) 日本包装技術協会 包装技術研究所 輸送包装研究室 室長

金子 武弘 氏

テーマ②:「包装で改善する 2024 年問題」

講師: 日本包装管理士会 東北支部長/株式会社東北ウエノ 代表取締役

鈴木 雅彦 氏

(3) 2024 年度包装技術研究発表大会（第 59 期包装管理士講座合格証書授与式併催）

10月30日（水） 西鉄イン福岡ホテル A ホール

参加者 32 名

第 59 期包装管理士講座包装論文より発表者 5 名

①「外装箱における開口不良改善」

TOPPAN 株式会社 九州事業部 企画販促本部販売推進部 販売推進チーム 奥田 知佳 氏

②「ブラケット包装仕様の最適化」

TOTO 株式会社 技術第一部 生産技術第一グループ

山崎 正一 氏

③「添付文書廃止に伴うインフルエンザワクチン個装箱の改良」

KM バイオロジクス株式会社 生産本部 生産技術部 製剤技術開発課 坂本 博臣 氏

④「貼りトレイの形態変更による強度向上と段ボール面積の縮小」

レンゴー株式会社 パッケージング部門 九州事業 鳥栖工場 営業部営業課 滝川 雄介 氏

⑤「半導体基板製品の梱包改善」

トライウォールジャパン株式会社 九州 LSC 営業チーム

吉村 直人 氏

<交流事業> (公益目的事業)

1) 見学会 中止

第 2. 諸会議

1) 西日本支部運営委員会 (本部定時総会報告・特別講演会時に開催)

第 1 回 10月2日（水）

西鉄イン福岡ホテル

一部運営委員は個別に訪問してご相談、報告を行う

2) 全国支部連絡会

第 1 2 1 回: 5月22日（水） オンライン

第 1 2 2 回: 11月20日（水） 富山国際会議場

第3．行事・その他の活動

1) 第59期包装管理士合格証書授与式・交流会

10月30日（水） 西鉄イン福岡ホテル

参加者 30名

「2024年度包装技術研究発表大会」

「懇親交流会」

（同ホテル1F） ウォーターサイト・オットー

2) 官公庁、関連団体との協力連携活動

「令和6年度ふくおかプラスチック資源循環ネットワーク会議」参加

7月16日（火） 年度内に再度予定